

令和5年度補正予算

林業従事者等確保緊急支援対策（うち労働安全対策・経営力強化対策のうち林業労働安全確保対策）事業概要

1. 事業の目的



令和5年度林業従事者等確保緊急支援対策（うち労働安全対策・経営力強化対策のうち林業労働安全確保対策）事業告知チラシ

総合的なTPP等関連政策大綱に即し、新たな国際環境のもとで、合板・製材・集成材等の競争力の向上に加えて、豊富な資源量を有する森林資源の活用による建築用木材等の供給力強化をはかり、海外情勢の影響を受けにくい需給構造の構築をはかる取組みが求められています。他方、伐採・造林等の施業を行う林業従事者等の人手不足・林業労働力の確保等が大きな課題となっているため、労働安全確保、林業経営体の経営力強化の取組みを推進する必要があります。

本事業は林業従事者等確保緊急支援対策として、認定事業主、選定経営体又は認定事業主若しくは選定経営体を取りまとめる地方公共団体、林業関係団体等に

対し、林業労働力の確保をはかるため安全で衛生的な職場づくりを通じた林業労働力の確保に向けた安全衛生装備・装置の導入や労働安全研修の実施を支援しました。

なお、事業の実施にあたっては、林業労働安全衛生についての知見を有する学識経験者などで構成する企画運営委員会を設置して、事業方針と導入する安全衛生装備・装置の内容・普及啓発の方法、ならびに研修方法について検討を行って事業を推進しました。

- (1) 【認定事業主】林業労働力の確保の促進に関する法律（平成8年法律第45号）第5条第1項に基づき、都道府県知事の認定を受けた事業主
- (2) 【選定経営体】経営体の育成について（平成30年2月6日付け29林政経第316号林野庁長官林業通知）に基づき、効率的かつ安定的な林業経営や森林経営の継続性の確保を目指す林業経営体として都道府県知事が選定した林業経営体
- (3) 上記(1)、(2)の認定事業主や選定経営体を取りまとめる地方公共団体、林業関係団体

目次：

- 1. 事業の目的 1
- 2. 事業概要と予算・申請者 1
- 3. 導入された安全衛生装備・装置の概要 2
- 4. 安全衛生に関する研修の概要 2

2. 事業概要と予算・申請者

1) 事業概要

認定事業主や選定経営体などを対象に、安全衛生装備・装置の導入および労働安全衛生に関する研修をセットで行う経費の1/2補助を行いました。

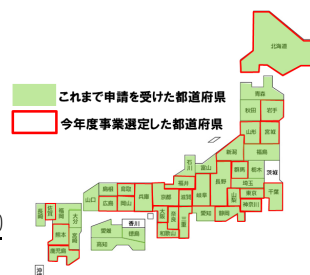
事業期間は令和6年2月13日から開始して令和7年3月31日まで。

補助事業申請状況

応募件数	
申込件数	130件（予定額の2.6倍の申込）
交付決定数	58件（総事業額61,191千円）

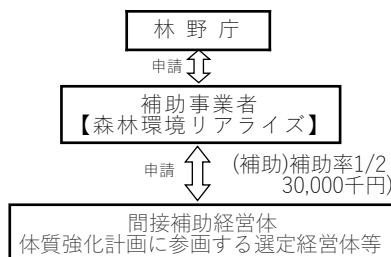
事業選定した都道府県

選定経営体の内訳



交付先と件数	
株式等民間企業	29
森林組合・連合会	26
企業組合	3

事業名：令和5年度 林業従事者等確保緊急支援対策（うち労働安全対策・経営力強化対策のうち林業労働安全確保対策）事業
監督機関：林野庁林政部経営課 林業労働・経営対策室
補助事業者：(株)森林環境リアライズ
<https://www.f-realize.co.jp>
anzen@f-realize.co.jp



補助予算は30,000千円で、1団体あたり事業費400万円以内（補助率1/2以内）としました。

3. 導入された安全衛生装備・装置の概要

導入された防護装備は、防護ジャケット、防護ズボン、チャップス、防護ブーツ、イヤーマフ・フェイスガード付ヘルメット、防護手袋、空調ウェア、かかり木処理用エンジンウインチ、無線機などです。

令和5年度事業で申請を受けた安全衛生装備・装置品の数と単価

安全衛生装備・装置品名	メーカー・種	導入数	製品平均単価
防護ジャケット	6社 8種	78着	16,900円
防護ズボン (level1以上)	11社25種	283着	24,500円
チャップス (level1以上)	7社 7種	52着	12,800円
防護ブーツ (level1以上)	8社16種	164足	36,200円
ヘルメット (フェイスガード・イヤーマフ付)	7社 9種	267個	32,700円
防護手袋 (防振・耐切創)	10社12種	294双	3,150円
空調ウェア (インナー等付属品含む)	13社13種	215着	32,100円
エンジンウインチ (滑車・ロープ等含む)	4社 5種	11機	360,000円
無線機	7社 7種	215機	51,700円

令和元年～令和4年まで導入された上記以外の安全衛生装備・装置 (参考)

保護帽 防護衣等	ヘルメット用イヤーマフ	その他	伐倒補助装置 (ガイドレーザー)
	ヘルメット用空調機		研磨機
	蛍光ベスト		衛星携帯電話
	レインウェア (目立つ色彩)		測量機器 (付属品含む)
伐木 造林等機 資材	電動チェーンソー		熱中症ウォッチ
	電動刈払い機		パルスオキシメータ
	手動ウインチ		スマートウォッチ (緊急発信装置付き)
	機械式クサビ		燃料缶 (消防法適合品)
	繊維ロープ		救急セット
	ハーネス/ランヤード		自動体外式除細動器 (AED)
	植栽用電動ドリル		簡易衛生トイレ
	植栽補助機 (ディプル等)		その他 (360° カメラ、保冷库等)



林業用の目立つ色合いの防護衣



防護ズボン (level1以上)



フェイスガード・イヤーマフ付ヘルメット



イヤーマフ型無線機

4. 安全衛生に関する研修の概要

研修は安全衛生装備・装置の導入とセットで実施することが必須です。研修会の内容は安全衛生装備・装置品の地域への普及啓発とともに、安全衛生に関する研修をととして林業労働災害の撲滅を目的としています。このため、研修会の開催は、地域の多くの林業経営体や行政機関の参画を得て開催しています。令和5年度事業の選定経営体が実施した研修会は58件で、研修参加は1,545人 (行政44機関、林防災13支部、森林組合30組合、民間林業経営体32社、一般その他23団体) が参加しています。



令和5年度事業で実施された研修会

	研修内容	件数
座学	災害の実態と対策安全講習	10
	VRシミュレータ安全研修	13
	リスクアセスメント研修	2
	導入品の使用と管理学習	5
	熱中症・ハチ対策講習	6
	救命救急法研修	3
	アンガーマネージメント講習	1
	ヒューマンエラー対策講習	1
実技	伐木技能実技研修	3
	ウインチ・ロープワーク研修	6
	導入品の使用と管理実技講習	6
	GNNs測量研修	1
	防護ブーツの山の歩き方講習	1
	計	58